

株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ※当社ホームページをご覧ください。 http://www.yodoko.co.jp/

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問い合わせください。

証券会社の口座に記録されている株式		特別口座に記録されている株式	
お手続き・ご照会の内容	お問合せ先	お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	口座を開設されている証券会社	<ul style="list-style-type: none"> ●単元未満株式の買取・買増請求 ●届出住所・氏名などの変更 ●配当金の受領方法・振込先の変更 	特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会 ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	<ul style="list-style-type: none"> ●郵送物の発送・返戻に関するご照会 ●未払い配当金に関するご照会 ●その他の株式事務手続きに関するご照会 	株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話	0120-288-324 (フリーダイヤル)
インターネット	http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

株主の皆様へ

第111期 第2四半期のご報告
平成21年4月1日～平成21年9月30日

スチール! & アイデア!
ヨドコウ

〒541-0054
大阪市中央区南本町四丁目1番1号
TEL.(06)6245-1111 (大代表)
<http://www.yodoko.co.jp/>



YODOGAWA STEEL WORKS
Steel sheet / Building material / Roll / Grating

株式会社 淀川製鋼所
証券コード5451

『ヨドコウ迎賓館』

株主様
入館無料券

本券1枚につき、
3名様まで無料で
ご入館いただけます。

平成22年6月末日まで有効

重要文化財

ヨドコウ迎賓館のご案内

旧山邑家住宅



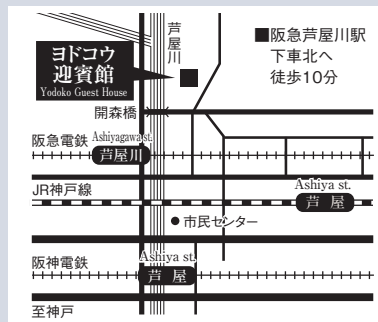
フランク・ロイド・ライト 設計

開館ご案内

開館日・毎土・日・水曜日と祝日
開館時間・10時～16時(入館は15時30分まで)
入館料・大人・大学生/500円 団体/400円(30名以上)
小・中・高校生/200円 団体/100円(30名以上)

問い合わせ

淀川製鋼所 広報課 06-6245-9103
ヨドコウ迎賓館 0797-38-1720
(URL) <http://www.yodoko.co.jp/geihinkan/>





代表取締役社長

國保善次

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社の第111期 第2四半期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）が終了いたしましたので、営業の概況につきましてご報告申し上げます。

平成21年12月

当第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、昨年の金融危機に端を発した世界的な不況の影響を受け、企業業績は低下、設備投資は引き続き低水準で推移しており、また個人消費の落ち込みなど厳しい経済環境が続いております。

鉄鋼業界におきましては、世界的に大きく落ち込んだ鉄鋼需要は、底入れしたとは言われているものの、いまだに低水準にとどまっております。国内にあっては、本年第1四半期からは、自動車ならびに電機産業につきましては、景気対策の効果が現れ一定の回復を示しておりますが、建設、機械産業などにつきましては、設備投資意欲は大きく減退

しており、いまだに回復の兆しは見え、厳しい経済環境が続いております。このような状況下、国内高炉メーカーは海外に販路を求め輸出比率を高めてまいりましたが、中国、韓国などのメーカーとの厳しい競争下にあります。

連結子会社があります台湾経済は、期初は世界的な景気悪化の影響を受け、国内はもとより、輸出が3割以上落ち込む厳しい経済環境となり、また第2四半期（4月～6月）に入り、政府の景気刺激策により家電への需要の増加や新車販売台数の増加など個人消費の一部に回復感がでたものの、失業率の高止まりや平均賃金の減少など懸念材料もみられます。

当社グループにおきましては、国内の鉄鋼需要が極めて低い水準で停滞するなか、鋼板関連事業の鋼板、建材の各部門の売上高は、設備投資の減退による建築物の減少や消費者の購買意欲の減退などにより大きく落ち込みました。また、電炉関連事業のロール、グレーチングの各部門におきましても設備投資の減退、公共事業の減少など国内の厳しい経済状況を反映して売上高は減少しました。また、収益面でも需要が低迷するなか、販売価格の下落などの影響を受け、当社グループの損益は大幅に悪化しました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は626億23百万円（前年同期比42.2%減）となりました。

また、利益面におきましては、当第2四半期連結累計期間の営業損益は9億46百万円の損失となり、経常損益も3億64百万円の損失となりました。四半期純損益は行政処分に係る課徴金などを計上したことから42億16百万円の損失となりました。

なお、当中間期の配当金は、1株当り5円とし、12月1日よりお支払することといたします。

当社は平成20年1月、一部鋼板製品の販売に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして公正取引委員会の調査を受け、同年12月には東京地方検察庁より起訴されておりましたが、本年8月、公正取引委員会からは排除措置命令ならびに課徴金納付命令が送達され、また本年9月には東京地方裁判所にて罰金を科す旨の判決が下されました。

本件につきましては、株主の皆様、お客様をはじめ関係各位に多大なご心配、ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げますとともに、再発防止のための諸施策を徹底してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



取締役 常務執行役員
遠山 巽

平成16年6月 執行役員
建材本部副本部長

平成21年6月 取締役 常務執行役員
営業本部長

現在に至る

鋼板・建材両部門の融合 戦略で次代へ船出

建設業界の不振が続くなかで、次の時代を見据えた体制を確立すべく、鋼板・建材両部門の販売チャネルの一本化による融合戦略を始動させます。他方、商品開発においては「環境に優しく、負荷の少ない商品づくり」をテーマに差別化された市場競争力の高い商品の創出をめざします。

建設分野が厳しい一方、家電分野での世界的な伸びに期待。

2008年秋以降、世界的な景気の急速な減退により、当社の鋼板・建材部門はともに大幅な減収を余儀なくされました。とりわけ両部門に深く関わりのある建設分野におきましては、民間の住宅着工の減少やマンションの販売不振、あるいは資金不足による着工減、企業の設備投資抑制など、いわゆる「箱もの」の減少が著しく、当面厳しい状況が続くと考えられます。

ただ一方で、家電分野におきましては、金融危機に伴う一時的な落ち込みによる在庫調整を終え、前年の実績に近づきつつあります。なかでも注目しているのは薄型テレビや白物家電の冷蔵庫です。日本においてはエコポイントや省エネ志向も手伝って

大型の冷蔵庫が販売数量を伸ばしており、海外でも新興国、東南アジアを中心に、今後も需要に大きな伸びが期待されます。また薄型テレビにつきましても、世界的に大きな伸びが見込まれます。

ヨドコウならではの販売網を活かした鋼板・建材の販売チャネル一本化。

こうした環境を踏まえ、当社にとりましては現在持っている潜在力を今後いかに高めていくことができるかが、大きな課題であると考えております。

その取り組みの筆頭に挙げられるのが、販売力の強化です。

当社は、競合他社にない地域密着型の全国販売網を確立しており、全国19の営業所が地域の販売店の方々と密接な営業活動を展開しております。しかし、この営

業所は現状、建材部門の営業所として建材・エクステリア商品のみを扱っており、需要者側に立った商品の品揃えに欠けていたことは否めませんでした。ついては、鋼板コイルの販売を九州地区の営業所で試験的に行い、その検証も終えましたことから、近々全国の営業所に展開を図ってまいります。実際にお客様先を訪問しましたところでは、従来、商品によって商社やメーカーに別々に発注していたものがワンストップでオーダーできるとあって、かなり好評価をいただけたという実感を得ております。

今後は、営業所で鋼板の国内店売り販売を手がけることで、鋼板と建材の販売チャネルの一本化が図られます。メーカーとして総合的に品揃えすることは、地域のお客様に対してより広範囲に、より深く、またきめ細かく、そして迅速な営業展開が可能になると考えております。

ドラスチックな組織再編成により次の時代に向けて発進。

また組織的にも、営業部門の組織を再編成し、当下期よりスタートさせました。

従来、鋼板・建材等の商品分野ごとの縦割りであったものを融合化させ、また名称も「営業1部」「営業2部」に変えることで、内外へ向けて「ヨドコウが変わります」と意思表示をいたしました。この組織改革は、ヨドコウの長い歴史のなかでも極めて革新的な取り組みであり、それだけに社内のモチベーションも非常に高まりを見せており、鋼板と建材の販売チームのコラボレーションにより、人的資源という潜在力を最大限に発揮した営業活動に努めます。

環境関連商品を軸に積極果敢な商品開発を展開。

販売力とともに、もう一つ強化していきたいのが商品開発力です。こうした厳しい時期には内向きな思考になりがちですが、むしろこうした時期だからこそ積極的な商品開発が必要だと認識しております。いかに優れた素材で、いかに顧客ニーズをとらえた商品を創出していくかが、会社の盛衰を左右するものと考えております。

商品開発におけるキーワードは、ずばり「環境に優しく、負荷の少ない商品づくり」

です。環境関連商品の需要は堅調に伸びている一方で、競争も激しく各社の商品力が問われる市場となっておりますが、当社は業界に先駆けて商品化を進めており、市場において頭ひとつ抜けて有利に展開できていると考えております。

先行者の優位性を発揮している「クロムフリー鋼板」。

その代表格が、「クロムフリー鋼板」(P6参照)です。当社は、六価クロムを含まず環境負荷の少ない「鋼板のクロムフリー化」を他社に先駆けて進めてまいりました。耐食性・耐候性にも優れたクロムフリー鋼板を開発することにより、屋内用から外装用まで、幅広く採用いただいております。コスト的にも従来品と変わらないうえに、消費者への「エコ」メリットを訴求できるとあって、特に家電分野では高い評価をいただいております。また今後、塗装鋼板・めっき鋼板がすべてクロムフリー化されることも視野に入れ、短納期や小ロットにも対応できる供給体制を、製販一体の強みを活かしながら確立していこうと考えています。

コラム 1 ガルバリウム鋼板

ガルバリウム鋼板は、高品質な圧延鋼板にアルミ亜鉛合金めっきを施した表面処理鋼板材です。その優れた耐久性が評価され、住宅・店舗をはじめさまざまな建物で外壁や屋根の材料などに使用されています。ガルバリウム鋼板のめっき組成は、アルミニウム55%、亜鉛43.4%、シリコン1.6%で、従来のトタン板(溶融亜鉛めっき鋼板)の数倍も耐久性に優れて

います。阪神甲子園球場・銀傘屋根やさいたまスーパーアリーナなど、高い耐久性・耐酸性が要求されるさまざまな施設・建築物に使用されています。



コラム 2 PCM(プレコート鋼板)

プレコート鋼板とは、鋼板にすでに塗装が施されているため、すぐに加工ができる鋼板です。当社では、さらに耐食性・耐汚染性などの「機能性」や、色・柄などの「意匠性」、曲げ・絞りなどの「加工性」を組み合わせ、お客様の高度化・多様化するニーズにお応えしています。



様々な家電製品に活かされています。





技術的優位性を誇る

「ガルバリウム鋼板」。

エクステリア商品では、耐久性の高い「ガルバリウム鋼板」(コラム1)化を進めております。2009年秋には、物置分野の主力商品である「エスモ」と「エルモ」のほぼすべてがガルバリウム鋼板になり、販売店の店頭での展示品が5割程度増えるなど、流通各社様にたいへん高い評価をいただいております。今後、エクステリア商品のほぼすべてをガルバリウム鋼板化することで耐久性を高め、長期使用していただくことで環境負荷軽減に貢献していこうと考えております。また一方で、流通業界で

は高い評価をいただいているガルバリウム鋼板のメリットを、一般消費者に対しても強くアピールする施策を実施することで、より一層の市場競争力強化を図ってまいります。

部門間で技術ノウハウを共有し

競争力の高い商品開発を推進。

伸びが期待される薄型テレビにつきましては、背面材に用いられる「PCM」(コラム2)の低価格商品の開発を急いでおります。また、内部に使用されております「めっき鋼板」につきましては、板厚の薄板化が進むなかで、強度対策も含めた対応商品を開発してまいります。

一方、冷蔵庫の側面材におきましては、同じく板厚の薄板化が進んでいることに対応し、板厚が薄くても強度の変わらない高抗張力のPCM商品を現在開発中です。こちらの完成を急ぎ、できるだけ早く市場に投入したいと考えております。

そのほか、建材部門では、平成16年に発売致しました屋根専用の緑化工法の「ヨドーフファイナングリーン」(コラム3)のラインナップの充実や、新型太陽光発電システム等の金属折板屋根に係わる複合商品の開発、拡販に注力します。



▲新型太陽光発電システム

また、自治体の補助もあり需要が伸びているゴミ分別収集庫では、他社に先駆けて「ダストピット」を発売いたしました。低価格でデザイン性に優れている点が高評価につながっており、こちらもさらなる商品拡充を図っていく考えです。

こうした部門間の持っている技術ノウハウを共有しながら種々の商品開発に活かし、顧客満足度が高く、環境にも優しい、負荷の少ない商品を市場に提供していきたいと考えております。

長期的視野に立ち

タイに新しく合弁企業を設立。

グローバル戦略といたしましては、台湾のセンユースチール社をはじめ、マレーシアのPSP社、タイのPPT社等の海外子会社で鋼板コイル生産や鋼板の二次加工

を行っております。

また、建材商品の販売・施工においても、台湾の淀鋼国際股份有限公司や淀鋼建材(杭州)有限公司といった拠点を展開していますが、さらなる拡充を図る意味で、2009年度中にも、タイで現地企業と組んで合弁企業を設立する予定です。タイが自動車の生産拠点として今後も発展することも視野に入れ、今のうちに灯をともしておく考えです。

これらにとどまらず、今後も積極的な海外展開を図り、アジアにおける長期的な戦略を構築していきたいと考えております。

透明性、公平性のある会社をめざし

コンプライアンスを徹底。

最後になりましたが、当社は、この度一部鋼板製品の販売に関するカルテル事件で、関係各位に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。これを契機に、旧来の体制と決別するチャンスととらえ、コンプライアンス重視と透明性のある会社をめざすことが責務と考えております。

私ども鋼板関連事業部門に更なるご支援とともに、ご期待を頂きますようお願い申し上げます。

人や地球環境にやさしいクロムフリー

エコグリーン

シリーズ



ヨドGL

エコグリーン

ヨドハイブリッド
カラーGL

エコグリーン

スーパーバリア
カラーGL

エコグリーン

地球環境が社会問題化するなか、環境負荷物質低減への取り組みが加速しています。家電業界においては、すでに環境負荷物質であるクロム全廃が条件となっており、他の産業分野においてもニーズが顕在化しつつあります。当社では、六価クロムを含まず、かつ耐食性・耐候性に優れたクロムフリー鋼板をいち早く開発。屋内器物用から、屋根・壁材など、より厳しい環境で使用される外装用まで、塗装鋼板・めっき鋼板でクロムフリー化を実現しています。

淀川製鋼所は自然と調和し、共生する企業活動を行っていくことを、宣言しています。

環境基本理念

- 1 地球の環境保全に貢献します。
- 2 自然環境調和型の企業活動を行います。

コラム 3 ヨドーフ ファイナングリーン セダム緑化工法

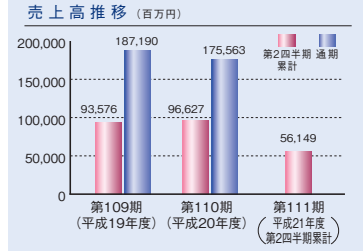
金属折板屋根の上にユニット化された植栽(セダム)トレイを直接敷設する、極めて施工性に優れた新しい屋上緑化工法です。植栽トレイには、乾燥に強く屋上緑化に適したセダムを、適切に生産管理が行われている苗場で、あらかじめ植え付けています。軽量かつ施工性も良好で、メンテナンスにも手間がかからないことから好評を得ています。



◀ヨドーフセダムトレイ

鋼板関連事業

主な製品
冷延鋼板、磨帯鋼、カラー鋼板、ガルバリウム鋼板ほかの表面処理鋼板、建築材料(屋根材、壁材など)、建設工事の設計および施工、エクステリア商品(物置、ガレージ、自転車置場、ダストピットなど)



クロムフリー鋼板に更なる付加価値を付け拡販
新型太陽光発電システム等の環境関連商品にチャレンジ

高強度外装材
ヨドボルトレスウォールデュアル60
高い強度性能を有する、中・高層ビル用の金属外装材です。大きな角型形状が、高層ビルのスケールにあった意匠を実現します。
小型ゴミ収集庫
ダストピット新タイプを新発売
ガルバリウム鋼板の採用でさらに耐久性アップ



国内では、設備投資の減退により建築物が激減し、建材向けの売上高が大きく落ちこみ、また輸出では世界的な鋼材需要の落ち込みから販売価格が大幅に下落し、台湾子会社のセンユースチール社でも同様に、販売価格の大幅な下落となり、鋼板業務では前年同期比で減収減益。

今後は、室内の温度上昇対策商品として好評を得ているクロムフリー鋼板に遮熱機能を付与した遮熱カラー鋼板の拡販や成長分野の薄型テレビの背面材、環境・省エネ意識から電気給湯器へのニーズの高まりが予想されることから匡体用PCM等の拡販に努めます。

建築関連の需要低迷により売上高は落ち込みましたが、コスト削減に努めたことから、建材業務では前年同期比で減収増益。建材商品では、屋根材「ルーフ」は、価格競争が激化。壁材のプリントや断熱性に優れたサンドイッチパネルは好調に推移。中高層建築向けの新型サイディング「デュアル60」は、新規分野の商品として期待されます。

エクステリア商品では、ガルバリウム鋼板仕様の「物置」が高い評価を得ており、新色を加え、ホームセンターや専門店で拡販を図ります。「ダストピット」は、高耐久で斬新なデザインの新商品を投入。環境関連商品では、サンドイッチパネル・ルーフが、大手コンビニ各社の環境配慮型店舗にテスト的に採用。屋根緑化システムや新型太陽光発電システム等のPR、拡販に努めます。

鋼板業務

建材業務



ロール業務

グレーチング業務

その他業務

鉄鋼向け厚板用大型ロールは中国・韓国での新規厚板ミルの立ち上がりを追い風に、国内・海外とも堅調に推移しましたが、国内熱延向けワークロールと製紙向けはともに減少。今後は、鉄鋼向け大型ロールを中心に中国・インドでの新規顧客の開拓等、海外案件の積極的な展開を図ります。既に、当社の出資先のTAYO ROLLS社(インド)では、技術供与の成果が出始めております。

熱延向けワークロールは、業界が回復基調にあり、製販ともに素早い対応に努め、非鉄向けでは製紙業界の設備投資が一巡したことから、ゴム・ビニール向けの拡販に努めます。

大型ロールを中心に海外案件の積極的な展開
越流抑制グレーチング「ウォーターフォールズ」の拡販に注力

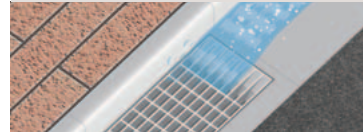
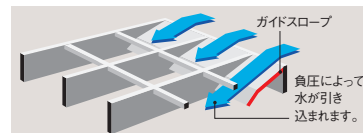
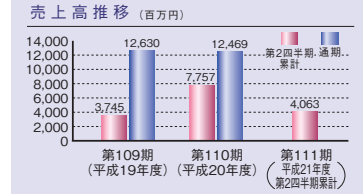
道路舗装・土木建設業界を取り巻く環境は厳しく、前年同期比で減収・減益。重点ユーザーへの営業強化、新規店開拓、官公庁への設計活動等を継続して推進し、収益確保に努めます。

なお、越流抑制グレーチングはゲリラ豪雨対策として引き合いが多く、高い耐食性を持つ「ガルファングレーチング」は維持費等のコスト削減が可能なおかげで、港湾のインフラ整備向けに受注が増えています。

エンジニアリング業務につきましては、新規ブランド物件の成約には困難な状況が続いておりますが、国内では、既設スリッターラインの電気品更新工事等、海外では、納入した設備へ予備品の販売を行いました。不動産部門につきましては、引き続き安定的な収益を確保しております。

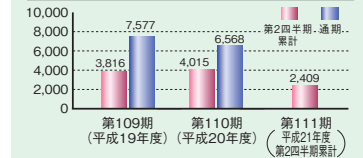
電炉関連事業

主な製品
鉄鋼用ロール、製紙用ロール、グレーチング



その他の事業

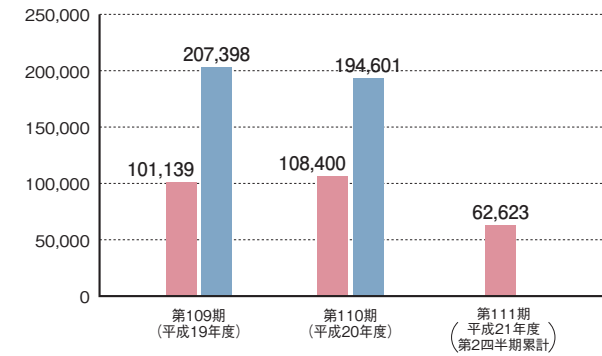
主な製品
機械プラント、ビル賃貸、ゴルフ場経営、駐車場経営、倉庫業、運送業



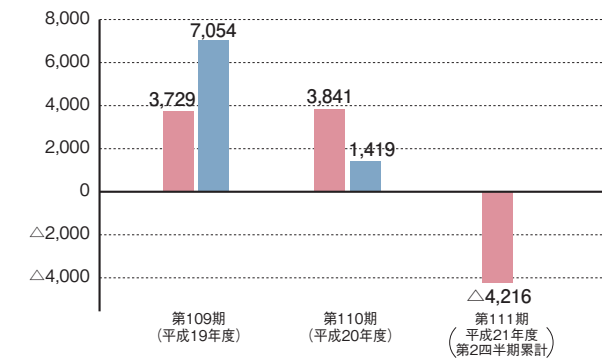
連結業績ハイライト

■ 第2四半期累計 ■ 通期

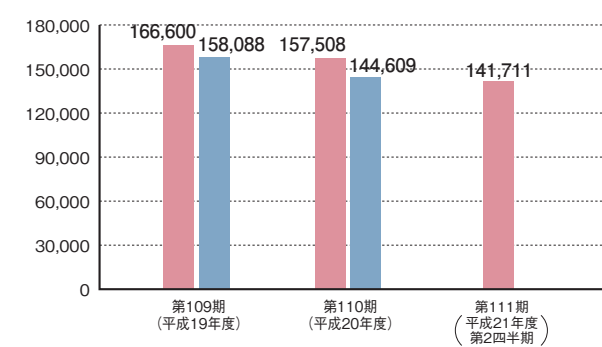
売上高 (単位:百万円)



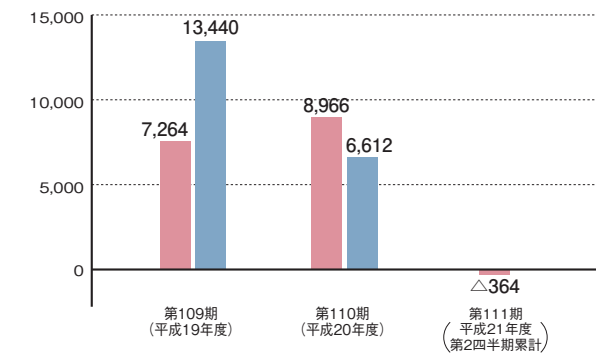
当期純利益 (単位:百万円)



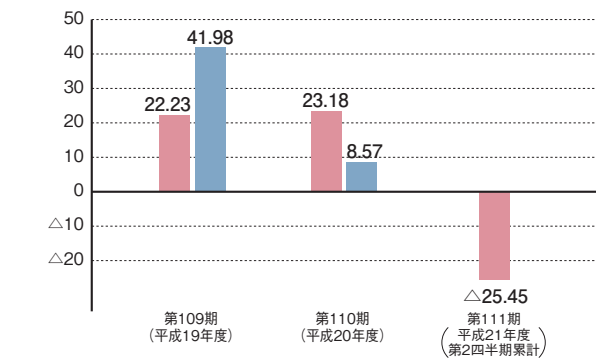
純資産 (単位:百万円)



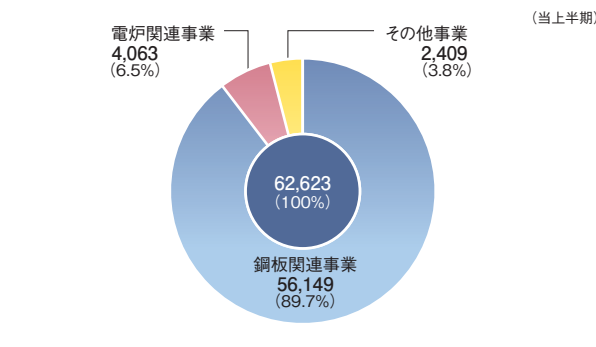
経常利益 (単位:百万円)



1株当たりの当期純利益 (単位:円)



当期セグメント別売上高構成比 (単位:百万円) (当上半期)



連結決算の概要

貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年9月30日	科目	当中間期 平成21年9月30日
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	91,713	流動負債	25,860
現金及び預金	18,924	支払手形及び買掛金	13,314
受取手形及び売掛金	30,678	短期借入金	1,406
有価証券	12,493	その他	11,139
棚卸資産	23,881	固定負債	13,611
その他	5,915	退職給付引当金	7,318
貸倒引当金	△179	役員退職引当金	73
固定資産	89,469	その他	6,219
有形固定資産	53,587	負債合計	39,472
建物及び構築物	16,194		
機械装置及び運搬具	15,082	【純資産の部】	
土地	19,078	株主資本	127,846
その他	3,232	資本金	23,220
無形固定資産	467	資本剰余金	23,757
投資その他の資産	35,414	利益剰余金	88,296
投資有価証券	32,088	自己株式	△7,429
その他	3,365	評価・換算差額等	2,003
貸倒引当金	△39	その他有価証券評価差額金	4,623
		土地再評価差額金	1,321
		為替換算調整勘定	△3,941
		新株予約権	96
		少数株主持分	11,765
		純資産合計	141,711
資産合計	181,183	負債及び純資産合計	181,183

損益計算書 (単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	62,623
売上原価	56,874
売上総利益	5,748
販売費及び一般管理費	6,695
営業損失	946
営業外収益	762
営業外費用	180
経常損失	364
特別利益	49
特別損失	4,187
税金等調整前四半期純損失	4,503
法人税、住民税及び事業税	56
法人税等調整額	234
少数株主損失	576
四半期純損失	4,216

キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当中間期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	19
現金及び現金同等物に係る換算差額	243
現金及び現金同等物の増加額	7,255
現金及び現金同等物の期首残高	24,556
現金及び現金同等物の第2四半期累計期間末残高	31,812

株式の概要 [平成21年9月30日現在]

株式の状況

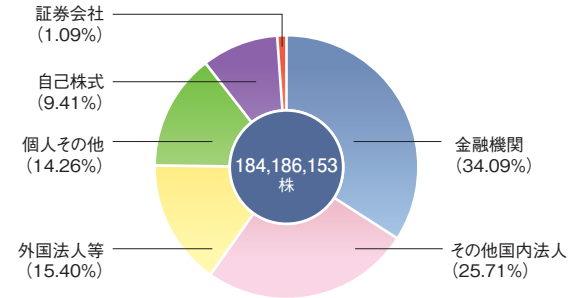
発行する株式の総数	753,814,067株
発行済株式の総数	184,186,153株
株主数	9,257名

大株主 (上位7社)

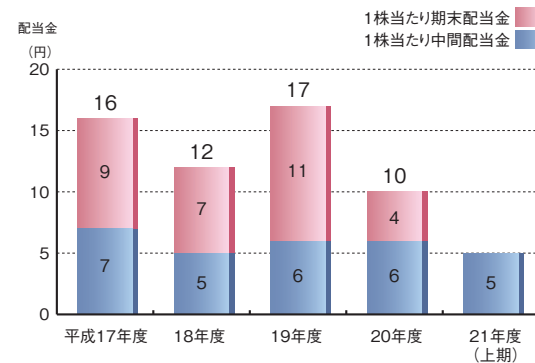
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,866	4.27
みずほ信託銀行株式会社	5,470	2.96
株式会社りそな銀行	5,342	2.90
株式会社みずほコーポレート銀行	5,310	2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,180	2.26
日本生命保険相互会社	3,866	2.09
シービーエヌワイティエイエインターナショナルキャピタル・ポートフォリオ	3,670	1.99

(注)当社は、自己株式17,338千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況

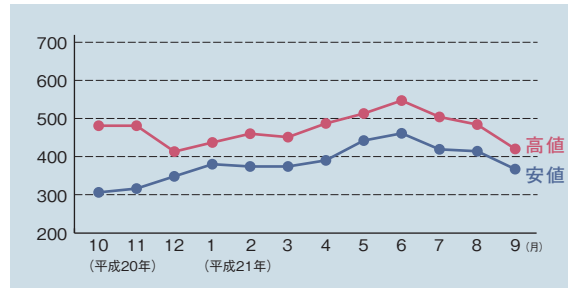


1株当たり配当金推移

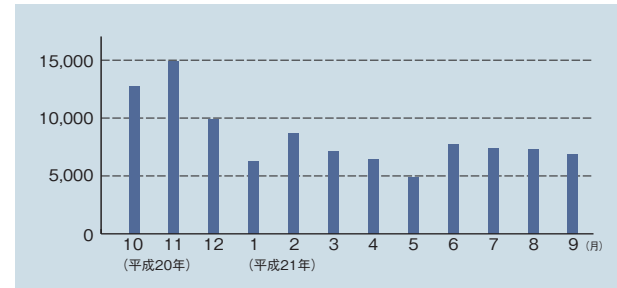


株価・株式売買高の推移 (東京証券取引所)

● 株価(円)



● 売買出来高(千株)



会社の概要 [平成21年9月30日現在]

当社の概要

社名	株式会社淀川製鋼所
設立	昭和10年1月30日
資本金	23,220,815,228円
従業員数	1,344名

当社の主な事業所

本社	〒541-0054 大阪市中央区南本町四丁目1番1号 06-6245-1111
支社	〒104-0041 東京都中央区新富一丁目3番7号 03-3551-1171
営業所	札幌、盛岡、仙台統括、新潟、長野、高崎 東京統括、横浜、静岡、北陸、名古屋統括 大阪統括、神戸、岡山、福山、広島 高松統括、高知、八幡、福岡統括、鹿児島
工場	大阪(大阪府)、呉(広島県) 市川(千葉県)、福井(福井県) 泉大津(大阪府)

当社の主な関係会社

● 連結子会社

高田鋼材工業株式会社	鋼板の加工および販売
盛餘股份有限公司(センユースチール社)	鉄鋼製品の製造および販売
白洋産業株式会社	鉄鋼卸業、運送業
京葉鐵鋼埠頭株式会社	倉庫業
ヨドコウ興発株式会社	ゴルフ場等経営および不動産賃貸

● 持分法適用関連会社

株式会社佐渡島	鉄鋼卸業
---------	------

当社の役員

取締役	執行役員
代表取締役社長	國保 善次
代表取締役	専務執行役員 寺田 剛尚
取締役	常務執行役員 遠山 巽
取締役	常務執行役員 西村 修
取締役	常務執行役員 河本 隆明
取締役	石田 榮次
	上席執行役員 大森 眞
	上席執行役員 大森 豊実
	上席執行役員 向井 信正
	執行役員 澤田 滋
	執行役員 海老原洋一
	執行役員 鉄橋 彰
	執行役員 林 真生

※石田榮次氏は会社法に定める社外取締役です。

監査役

監査役(常勤)	辻 克己
監査役(常勤)	天谷 薫
監査役	今西 康訓
監査役	湯浅 光章

※今西康訓および湯浅光章の両氏は会社法に定める社外監査役です。

あなた様名義の株式、 “特別口座”管理になっていませんか？

ぜひ今一度ご確認ください。

特別口座とは・・・ 株券電子化により開設された暫定的な口座です。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されなかった株式については当社がみずほ信託銀行に開設しております「特別口座」に記録されています。特別口座は、株主様の権利を保全する為の暫定的な口座であり、売買に制約があります。特別口座から証券会社の取引口座への株式振替の手続きについては、当社の特別口座管理機関であるみずほ信託銀行へお問い合わせください。

株主様管理ではないため

**取引所を通した自由な
売買ができません。**

単元未満株をお持ちではないですか？

単元未満株とは・・・ 売買単位に満たない株式です。

当社の株式は1,000株で1単元としています。例えば350株など単元に満たない株式は右記のような制約があります。

当社では単元未満株式の買取・買増制度を設けております。お問い合わせは、本紙最終ページ(裏面)“株主メモ”の“株式に関するお手続きについて”をご覧ください。

単元に満たないため

取引所を通した
自由な売買が
できません*。

株主総会での
議決権が
行使できません。

*一部証券会社で売買のサービスを行っている場合もあります。

株主様の株式状況チェック

平成21年1月5日までに所持されている株式を「ほふり」へ預託した

YES

NO

特別口座で管理されていません。

単元未満の株式を所持している

NO

お手続きは
必要ありません。

YES

対策

買取手続

取引所では売買できないので、当社に買取を請求いただけます。

買増手続

単元に不足する株数を当社に売り渡し請求いただけます。

お問合せ先

お取引の証券会社様

特別口座で管理されています。

単元未満の株式を所持している

YES

対策

買取手続

取引所では売買できないので、当社にて買い取りさせていただきます。

買増手続後
一般口座に
振り替える

単元に不足する株数を当社に売り渡し請求し、単元株にまとめた後、証券会社の取引口座に振り替えていただけます。

NO

対策

一般口座に
振り替える

証券会社の取引口座に振り替えることにより、取引所を通した自由な売買が可能になります。

当社は特別口座管理の株式の買取・買増等の手数料を平成21年12月1日から平成22年2月26日受付分まで**無料**といたします。

お問合せ先

特別口座管理機関
「みずほ信託銀行」

※本案内は制度のご案内で、買取・買増・振替請求等の勧誘を目的とするものではありません。これらについては、必ず株主様ご自身のご判断により行っていただきますようお願い申し上げます。